

**EDF**The Education for Development Foundation  
มูลนิธิเพื่อการพัฒนาการศึกษาEDF WAS AWARDED  
"NGO OF THE YEAR 2012"

# ダルニーフォーラム

第四十九号

2024年6月

www.edfthai.org/jp

## 2024年6月30日までに緊急の教育支援を必要とする2,400人の子どもたち (一部の生徒達からのメッセージをご紹介)

**アッチャリーヤーさん(中3) プリーラム県  
中学1年間支援の応募者**

私は幼い頃から祖母と暮らしており、6人家族です。祖母の脚には障がいがあり、歩くのが不自由ですが、血洗いの仕事をしています。他の家族2人は日雇いの仕事をしており、仕事のない日は無収入です。放課後は若い家族の面倒を見たり、色々な家事をします。土日は近所でお菓子を売り歩いたりして、学校で使うお金を少しでも貯めます。将来は先生になりたいです。子どもに知識や道徳を教えられるからです。そのために奨学金に応募しました。祖母や他の家族の負担を減らしたいです。

**カンヤパックさん(小3) マハーサーラ  
カム県  
障がい児支援の応募者**

私は3歳の時、事故で頭を地面にぶつけたのが原因で難聴になりました。学校で先生や友達の声が聞こえるように補聴器を使用しています。将来は先生になりたいので勉強を頑張っていますが、難聴が原因で発音があまり良くない問題があります。いつか聴力が元に戻ると信じて、定期的に通院、治療しています。奨学金に応募したのは、故障した補聴器を修理して再び学校で使うためと、通院の交通費にするためです。

**サリンティップ(中1)、ウドンターニー県  
中学支援の応募者**

義脚を使用している父は昔のように日雇いの労働の仕事ができなくなってしまったので、家で農業するしかありません。家計を支えるために、母が働きに出ていますが、仕事がないと、その日は収入がありません。私は父と母を手伝うため、すべての家事をしています。絵を描く時に想像力を働かせるので、美術の授業が好きです。また、私は自由時間にレクリエーション活動をするのが好きです。他の友達とやり取りしながら一緒に何かをすることが楽しいからです。

**ムーハムマッドファーイブさん(小2) ナ  
ラーティワート県  
タイ南部の孤児支援の応募者**

僕のお父さんはボランティア警察官の仕事に銃で撃たれて亡くなりました。お母さんは交通事故で亡くなりました。お父さんとお母さんがいなくなってからはおじいさん、おばあさんと暮らしています。おじいさん、おばあさんの仕事は日雇いなので、仕事のない日は収入がありません。お金のない日はバス代や食事代がないので、学校に行けません。良い子で勉強を頑張り、親代わりのおじいさん、おばあさんの言う事を良く聞くことを誓います。将来はお父さんのように国を守るために警察官になりたいです。

**ポンターリンさん(高1) コンケン県  
高校3年間支援の応募者**

僕の父親はお菓子を作って売っています。おかげで色々なお菓子を作ったり売るのを学ぶ機会があります。だから、お金の大切さをよく理解しているのです。理数系の科目が好きで、これまでに科学の問題を解く大会や計算競技会などに出場しました。高校を卒業したら医学部に進学したいです。家族が何人も重病を患って亡くなったのを見たからです。医者になるという夢を叶える機会が欲しいです。

**パナットダーさん(中1) コンケン県  
中学3年間支援の応募者**

私は6人家族です。父親はショベルカーの運転手です。母親は右腕が不自由なので仕事をしていません。父親は毎朝5時に起きて仕事に行きます。母親は家において、障がいのある伯父、伯母の世話をしています。私は放課後、母親の家事を手伝ったり、料理をして、父親の帰宅を待ちます。父親が一人で働いて家族を養い、私の学費を工面しています。将来はプロのサッカー選手になって両親を養い、両親の誇りになりたいです。ご支援者様からのご寄付で勉強を続けられるように願っています。ご支援よろしく願い申し上げます。

# 「教育で未来を変えたい子ども 2,400 人の声を届けてください。」

タイでは5月15日に2024年度の新学期が始まり、EDF財団が奨学金を必要とする子供たちを救済するために残された時間は、もう長くありません。2023年7月の受付開始以降、就学困難な子供たちのために個人、企業から多くのご寄付を賜りましたが、応募のあった9,658人全員に奨学金を提供できると信じて、引き続き活動しております。

2024年5月31日の時点で、今年度の目標の75.15%に相当する7,258口の奨学金が集まりました。詳細は以下の通りです。

奨学金タイプ	応募人数	寄付数	不足数
中学生支援	7,996	6,138	1,858
高校・専門学校生支援	970	697	273
障がい児支援	420	207	213
タイ深南部の孤児支援	272	216	56
合計人数 (割合)	9,658 (100%)	7,258 (75.15%)	2,400 (24.85%)

2024年6月30日までに残り2,400人分の奨学金寄付が必要です。まだ奨学金の受領が決定していない子ども達の一人でも多くに「教育で人生を明るくする機会」を届けたく、皆様から直ぐにご寄付戴けるよう、本状に寄付応募用紙を同封しております。

また、直接のご寄付をいただく他に、奨学金制度についてご友人、ご家族、お知り合いの方々へご紹介いただくというご支援の形もございます。今年度も家族の負担を心配せずに楽しく通学したいと願う子ども達のために、あなたのその暖かい手でそっと背中を押してやって戴けませんか？

末筆ではございますが、私共EDF財団の奨学金制度を通して、タイの恵まれない子どもたちへ力強いご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。皆さまからのご厚意が子どもたちの人生を大きく好転させる転機となり、自分自身に自信を持てるようになり、彼らの将来が本当に良くなるよう願っております。



EDF財団 代表取締役  
サンペット・ニンラット

## EDFはタイ国国税局のe-Donationに参加しました。

タイで銀行アプリをご利用の方々のために、以下の手順で税控除向けのQRコードから簡単にご寄付戴ける方法をご紹介します。

- ご利用の銀行のモバイルバンキングアプリからEDFのQRコードをスキャンし、銀行からの送金でご寄付いただけます。
- タイ国国税局が開発したe-Donationシステムに税控除を受ける情報を送信するかどうかを選択するメッセージが表示されます。(ご利用の銀行によって表示されるメッセージは異なります) タイでの納税者でない方は、「情報を送信しない」を選択してください。
- タイにお勤めで納税者の方は、銀行からEDFに寄付金が送られ、納税者の寄付情報が自動的にe-Donationシステムに送信されます。ご寄付者の便宜を図るために、EDFからの領収書を保管して戴く必要はなく、2営業日以内にご寄付情報がシステムに記録されます。
- ただし、このシステムによるご寄付の場合でも紙の領収書をご希望の場合は、EDFまでご連絡ください。



SCB Bank  
No. 319-2-77744-8